



さまざまな取り組みが紹介されたブースを見て回る参加者たち

道内六団体による研究
成果発表で札幌医科大学の
森岡教授は十勝の特産品
のひとつである大豆が
ん予防に効果がある栄養
素が含まれていることを

豊富に北海道は、新産業
創出の可能性を秘めてい
る」と語った。

「思いやりヨーグルト」
など道内十六事業が認定
されていることを紹介。
その上で、「地域資源が

全道約百四十団体の企
業経営者や研究者約五百
人が参加した。

深野局長は、経産省の
地域資源活用事業に無殺
菌牛乳を使った中札内村
レディースファームの

「大豆を付加価値
の高い製品の開発に活用
してほしい」と述べた。

事例発表では、帯広畜
産大なり管内八団体が産
学官連携による商品開発
などについて報告した。

また、会場には、道内
二十四機関が研究成果を

紹介、「大豆を付加価値
の高い製品の開発に活用
してほしい」と述べた。

事例発表では、帯広畜
産大なり管内八団体が産
学官連携による商品開発
などについて報告した。

新産業創出糸口探る

異業種交流「地域資源活用を」 フォーラム

帯広

全道の異業種交流団体が一堂に会する「異業種交流・産学官連携フォーラム北海道帯広」(中小企業基盤整備機構北海道支部、実行委主催)が十八日、帯広市内で開催された。北海道経済産業局の深野弘行局長が基調講演し、「地域資源を活用して新産業を生み出してほしい」と述べた。

披露するブースが設けられ、産業の創出の糸口を探られ、参加者たちは意見交換しながら、新商品や新